

2020年3月26日

東日本旅客鉄道株式会社

横浜支社

横須賀線武蔵小杉駅の混雑緩和に向けて下りホーム新設工事に着手します

JR東日本横浜支社では、これまで武蔵小杉駅及び駅周辺の混雑緩和・安全性向上などを目的として、2018年度に新南改札付近への入場専用臨時改札とエスカレーターの設置、南武線下りホームの一部拡幅を実施し、2019年度に横須賀線ホームにスレッドラインおよび転落防止注意喚起センサーを整備するなど、様々な対策に取り組んでまいりました。

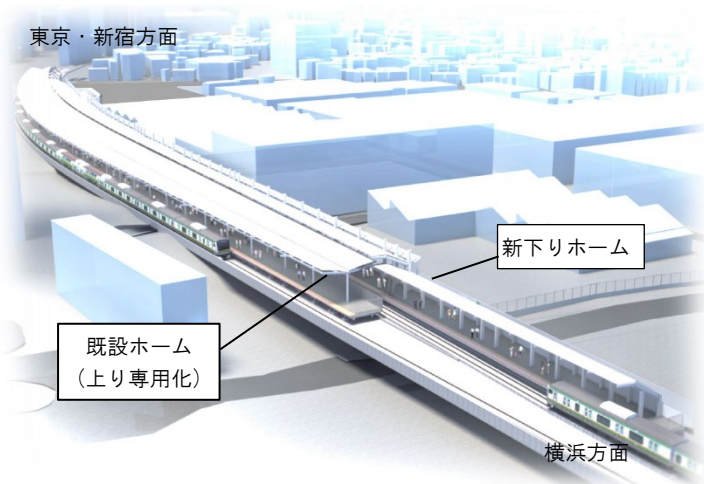
また、横須賀線武蔵小杉駅の抜本的な混雑緩和対策として、下りホーム新設（2面2線化）の計画を進めておりましたが、このたび、設計が進捗しホーム新設についての国の認可が得られたことから、ホーム新設などの工事に着手いたします。

1. 計画概要

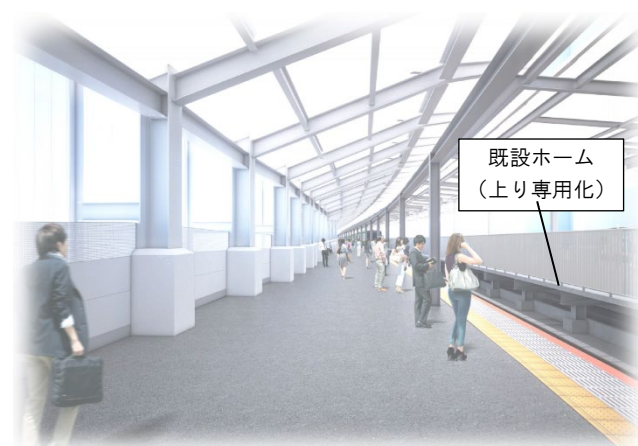
- ・新下りホーム
 - ホーム長 311m（15両編成対応）
 - ホーム幅員 基本幅員約5m
 - エレベーター 1基
 - エスカレーター 2基
 - 階段 2箇所
- ・コンコースは、新下りホームへのエレベーター、エスカレーター、階段への通路となる部分の拡張を行います。
- ・既設ホームについては上り専用ホームとし、現在の下り線側には柵を設置します。

2. 工事スケジュール

- ・工事着工予定 2020年4月（ヤード整備は2019年12月より実施中）
- ・新下りホーム利用開始予定 2022年度末頃



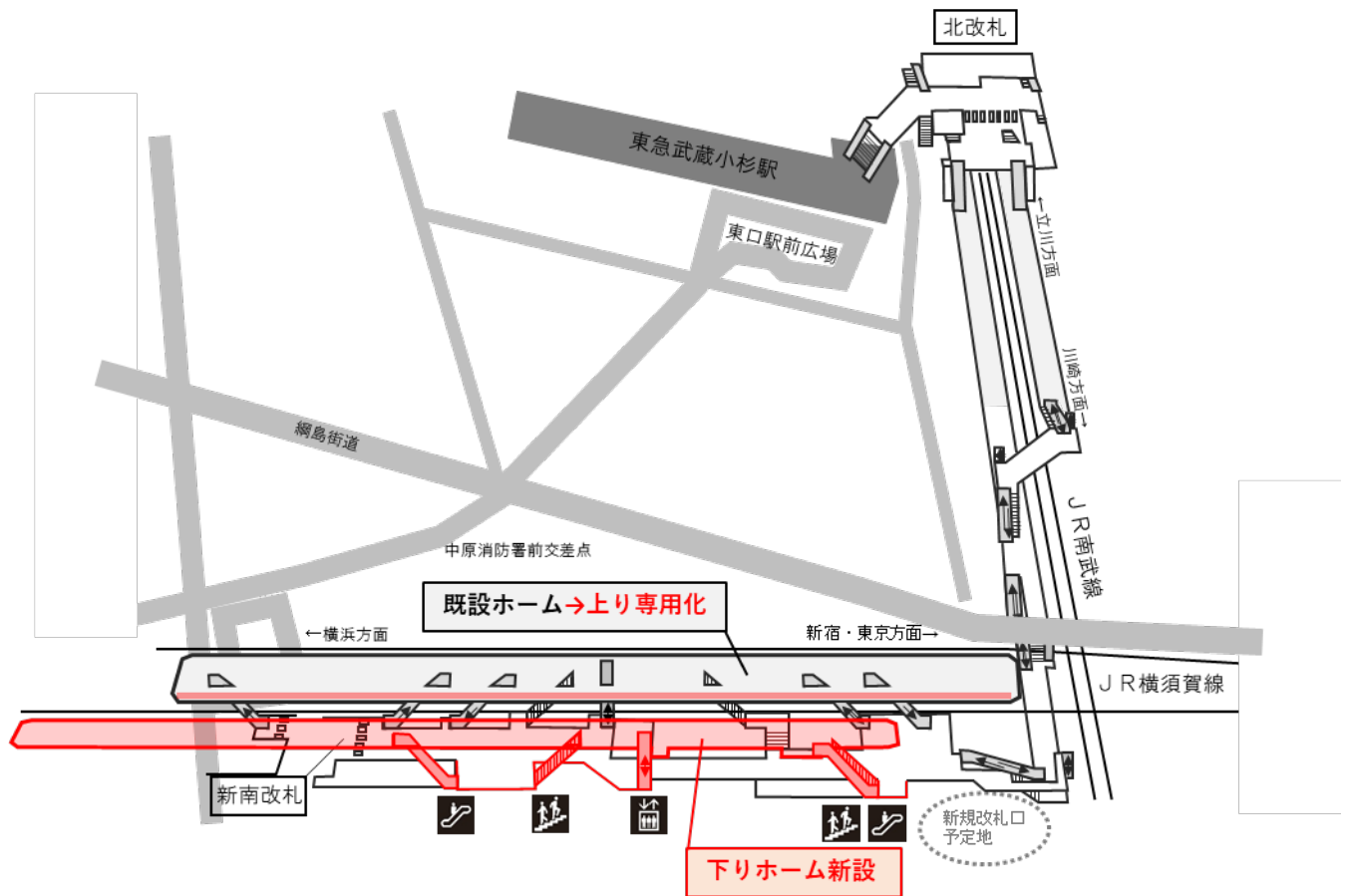
横浜側からのイメージ



新下りホームイメージ

※既設ホーム下り線側の柵は新下りホーム利用開始後の工事となります。

【計画概要図】



※画像等はすべてイメージです。

※計画等は、今後変更となる可能性があります。